

第二次新潟市立図書館ビジョン 令和3年度実績 評価シート(江南区)

図書館の基礎的数値		江南区図書館の実績			
		指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	資料購入費	決算額	7,867	7,393	7,306
2	蔵書冊数(単位:冊)	図書のみ	116,236	114,156	115,172
3	個人貸出人数(単位:人)	図書、雑誌、AV	99,543	76,834	84,182
4	個人貸出点数(単位:点)	図書、雑誌、AV	365,480	295,609	312,848
5	個人登録者数(単位:人)	有効期間は4年	12,963	12,101	11,744
6	(うち新規登録者数)(単位:人)	上記の内数	1,309	839	1,076
7	団体の貸出冊数(単位:冊)	図書、雑誌	9,101	9,494	10,066
8	入館者数(単位:人)	図書館のみ	158,815	133,969	146,528

ア 市民の生涯学習や課題解決を支援します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度江南区の取組結果	令和3年度外部評価欄	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度		段階評価	自由記述
施策① 多様な利用に応じた図書館サービスの提供	予約件数	59,758件	60,337件	60,400件	65,760件	65,800件	施策①については、新型コロナウイルス禍の影響により、来館の頻度や時間を抑える手段としての予約貸出しが増え、目標を達成しました。	3 大変評価できる 71%	<ul style="list-style-type: none"> 数値的に大変評価する。 新型コロナウイルス禍の中でも頑張っている様子が伺える。マイナンバーの活用や電子書籍への対応など、時代の流れに沿っている。 一利用者として、予約貸出しを便利に利用している。 予約件数やレファレンス受付件数が目標値を大きく上回っており、市民が貴館を活用し、学習や課題に取り組んでいることが分かる。 予約件数の増加は、図書館への愛着や期待、システムへの満足感が要因ではないか。団体利用の拡大も今後期待できる。 コロナ禍において、着実に実績を伸ばした点で大いに評価できる。図書館の役割、サービスの価値が再認識されたものと思う。
施策② 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	レファレンス受付件数	7,382件	6,299件	6,250件	6,956件	7,000件	施策②については、新型コロナウイルス禍による利用制限期間中の電話での所蔵調査依頼が多く、加えて主に団体による児童に関する利用が多くあり、目標を達成しました。	2 ある程度評価する 29%	
イ 特色ある地域づくりに寄与します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度江南区の取組結果	令和3年度外部評価欄	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度		段階評価	自由記述
施策① 地域資料(郷土資料・行政資料)の体系的な収集	郷土・行政資料の蔵書冊数	6,911冊	7,044冊	7,150冊	7,354冊	7,400冊	施策①については、行政資料や新刊等の郷土資料に関する情報収集に努め、目標を達成しました。	3 大変評価できる 86%	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなスペースにそれぞれ工夫した展示がされていて、楽しめ、参考になる。 俳句資料の収集、展示に敬意を表する。地域の特性を生かした活動を切に望む。 郷土資料の充実ぶりに驚いている。他市では民間に運営委託した結果、郷土資料が破棄されてしまった例もあると聞いているので、今後も大切に保管するよう希望する。 目標を上回っており評価できるが、郷土資料、行政資料の一般市民への認知度はそれほど高くないように感じる。図書館内でPRの掲示をしたり、ホームページで宣伝したらいいのではないだろうか。個人的には館内の展示コーナーはいつも注目している。 地域資料、地域がとりあげられた書籍等、わかりやすく分類整理されていると感じた。今後も可能な範囲で資料に触れる機会を作ってほしい。 館独自の視点に立った取組みが実績につながったものと思う。今後も継続的に取り組んでほしい。
施策② 地域の課題解決に役立つ資料の活用	資料のテーマ展示回数	44回	47回	23回	31回	23回	施策②については、常設展示の他、臨時の展示を多く実施し、目標を達成しました。	2 ある程度評価する 14%	
ウ 子どもの読書活動を推進します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度江南区の取組結果	令和2年度外部評価欄	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度		段階評価	自由記述
施策① 子どもの読書環境の整備	児童書の貸出冊数(個人・団体)	110,011冊	91,226冊	91,250冊	99,757冊	99,800冊	施策①については、新型コロナウイルス禍の影響により減少していた利用者数が回復傾向にあり、目標を達成しました。	3 大変評価できる 57%	<ul style="list-style-type: none"> 巣ごもり状況下で子どもが少しでも読書に傾いてくれたのであれば嬉しい。 限られた予算の中での対応など、苦労の様子がよくわかる。 子ども図書室は、良い意味で一般利用者が入りにくい雰囲気があり、結果親子連れが安心して利用できるスペースになっていると思う。 児童書の貸出冊数も増加し、子供のための館内のスペースもいつもゆったりと利用しやすい状況だ。子どもが読書を好むようになるためには、家族や地域ぐるみで本に親しむ文化を涵養することが望ましいが、具体的にどのような取り組みができるか。 コロナ禍でありながらも、読書への期待や必要性は低くないことが結果として表れているのではないかと。子ども期の本への親しみは成長とともに消えることはない。今後も取り組みを継続してほしい。 コロナ禍が落ち着くのであれば、これまでの取組みの上に更なる連携のあり方を検討して取り組んでほしい。
施策② 学校、保育園・幼稚園・こども園、公民館などとの連携と支援	子どもの読書推進に関わる職員派遣	2人	3人	2人	2人	2人	施策②については、亀田地区公民館が主催する子育て教室への講師派遣依頼が2回あり、目標を達成しました。	2 ある程度評価する 43%	
エ 市民参画と協働を推進します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度江南区の取組結果	令和3年度外部評価欄	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度		段階評価	自由記述
施策① 利用者・市民による図書館運営への参画	図書館協議会や利用者懇談会の開催	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	施策①については、予定通り開催し、目標を達成しました。	3 大変評価できる 29%	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア参加のべ人数の目標数値は、コロナ禍を鑑みての設定と思われるが、前年より50人近くの減は残念である。コロナ以前の3分の1ほどになっているが、他に方策はなかっただろうか。 おはなしのじかんの参加者も大幅な減だったと思われる。読み聞かせボランティアにとって、おはなし会に向けて練習していたところが中止となり、練習が自身のスキルアップになると心得てはいても、特に新人はモチベーションの維持がたいへんだ。 ボランティア対応は難しい面も多くあるが、期待するものでもある。 「まちゼミ」のコラボ企画で関連図書の特設コーナーを開設していただいたことが、個人的にはありがたかった。 図書館運営の様々な事情を知らない立場であるが、むしろ自由な発想で協議会に参加させていただいている。ボランティアや行事への参加呼びかけの方法については、学校や団体へのPRを強化して更に活性化できると思う。 状況からボランティアを活用することが難しいのは仕方がない。できる範囲で取り組み、新たな活用を見出して、市民に大切にされる館経営に期待している。 各図書館が独自性を確保しつつ市民参画と協働をどのように進めていくのか、難しい課題だが前向きに取り組んでほしい。
施策② ボランティアや教育機関・民間団体との連携協力	ボランティア参加のべ人数	384人	185人	175人	137人	126人	施策②については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を受け、ボランティアの皆さまから協力していただきながら実施する事業を、中止もしくは縮小した影響により、目標を達成できませんでした。	2 ある程度評価する 71%	
							1 評価できない 0%		